

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和6年5月調査)

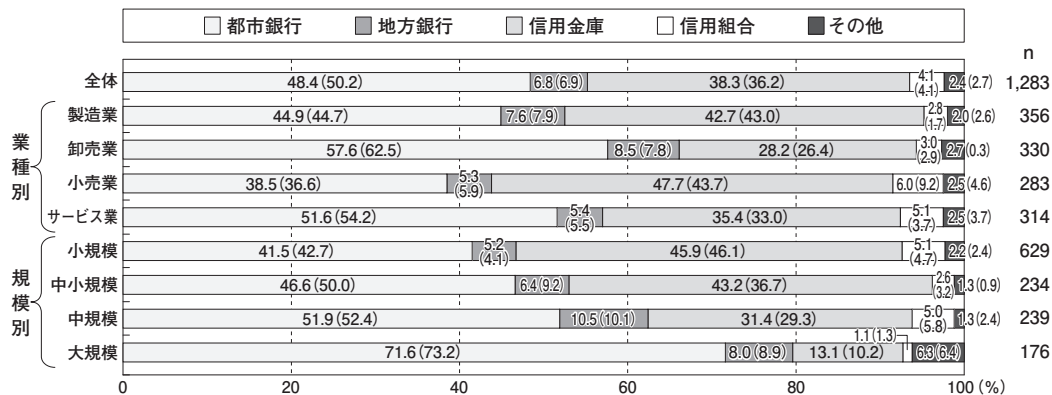
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が48.4%（前回調査 50.2%）と最も高く、「信用金庫」が38.3%（同36.2%）、「地方銀行」が6.8%（同6.9%）の順で続いた。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が57.6%（同62.5%）と最も高く、小売業は「信用金庫」が47.7%（同43.7%）と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は71.6%（同73.2%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査 (令和5年11月) の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

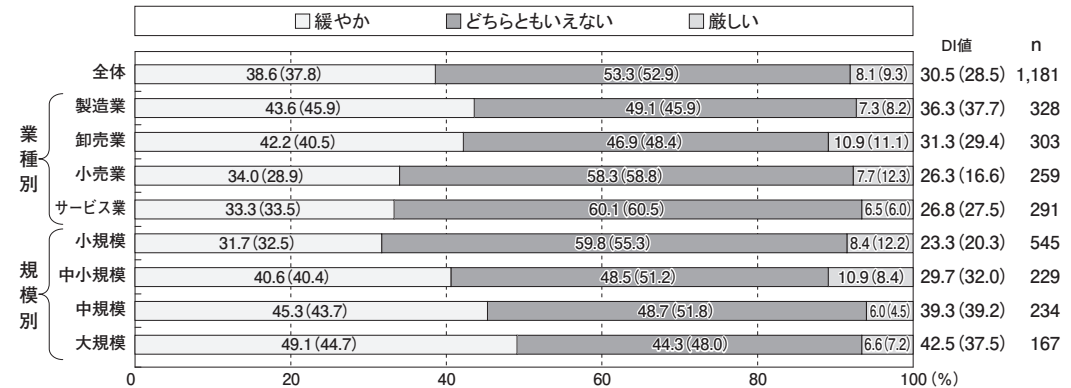
2. 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」 - 「厳しい」）でみると、全体では30.5（前回調査 28.5）となり、前回調査と比べて2.0ポイント増加した。

業種別にDI値をみると、小売業26.3（同16.6）は9.7ポイント増加、卸売業31.3（同29.4）は1.9ポイント増加した。

規模別にDI値をみると、大規模42.5（同37.5）は5.0ポイント増加、小規模23.3（同20.3）は3.0ポイント増加、中規模39.3（同39.2）は0.1ポイント増加した。

図表2 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査 (令和5年11月) の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

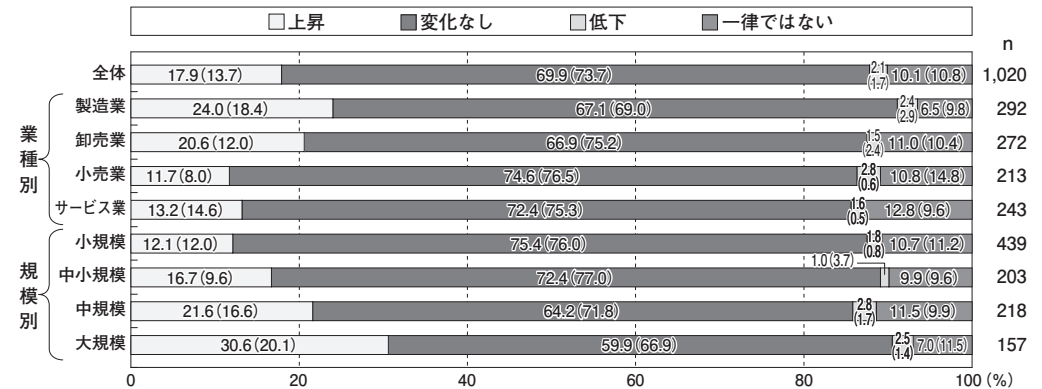
3. 主な取引金融機関からの借入金利

(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が69.9%（前回調査 73.7%）と最も高く、「上昇」が17.9%（同13.7%）、「低下」が2.1%（同1.7%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「上昇」が24.0%（同18.4%）と高い。規模別にみると、大規模は「上昇」が30.6%（同20.1%）と3割を超える。

図表3 金利傾向



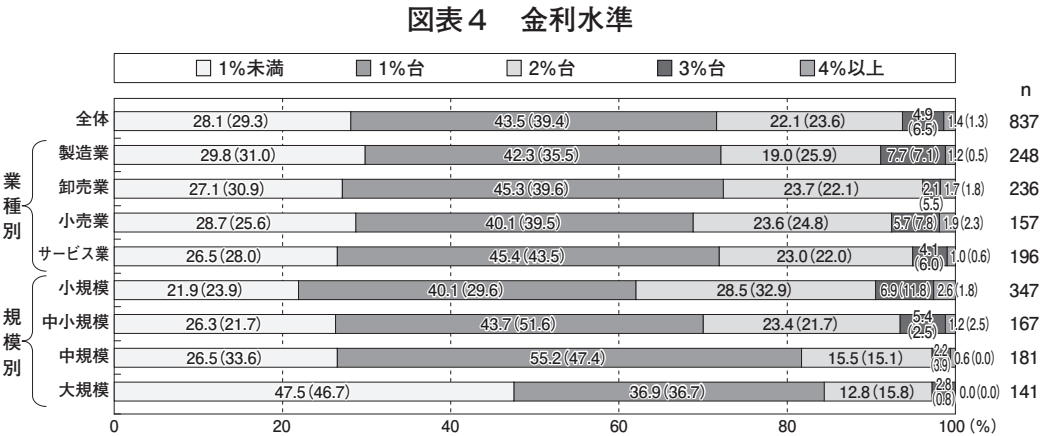
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査 (令和5年11月) の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1 %台」が 43.5%（前回調査 39.4%）と最も高く、「1 %未満」が 28.1%（同29.3%）、「2 %台」が 22.1%（同23.6%）の順で続いた。

業種別にみると、「1 %台」が全ての業種で増加し、なかでも製造業 42.3%（同35.5%）は 6.8ポイント増加した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「1 %未満」が高くなり、大規模は 47.5%（同46.7%）となった。



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和 5 年11月）の数値。
3 年超 5 年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

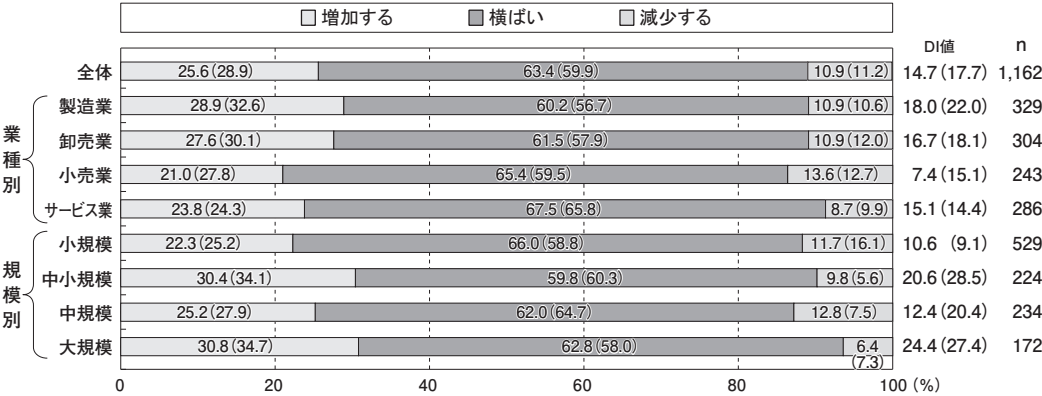
(1) 今後 3 か月間の資金需要

今後 3 か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では 14.7（前回調査 17.7）となり、前回調査と比べて 3.0ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、小売業 7.4（同15.1）は 7.7ポイント減少、製造業 18.0（同 22.0）は 4.0ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、中規模 12.4（同20.4）は 8.0ポイント減少、中小規模 20.6（同 28.5）は 7.9ポイント減少した。

図表 5 資金需要（今後 3 か月間）

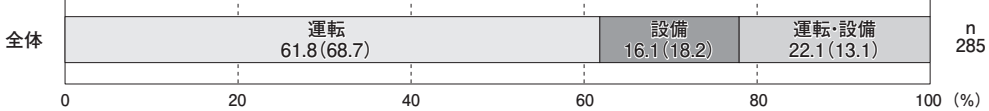


注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和 5 年11月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が 61.8%（前回調査 68.7%）と最も高く、「運転・設備」が 22.1%（同13.1%）、「設備」が 16.1%（同18.2%）の順となった。前回調査と比べて「運転・設備」は 9.0ポイント増加し、「運転」は 6.9ポイント減少した。

図表 6 資金使途

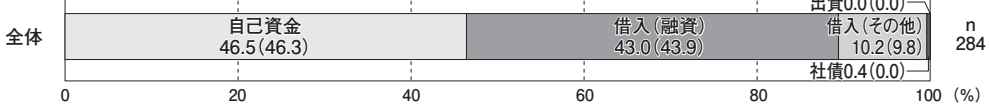


注）資金需要（今後 3 か月間）（図表 5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 5 年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「自己資金」が 46.5%（前回調査 46.3%）と最も高く、次いで「借入（融資）」が 43.0%（同43.9%）となった。前回調査と比べて「自己資金」は 0.2ポイント増加し、「借入（融資）」は 0.9ポイント減少した。

図表 7 調達手段



注）資金需要（今後 3 か月間）（図表 5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 5 年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

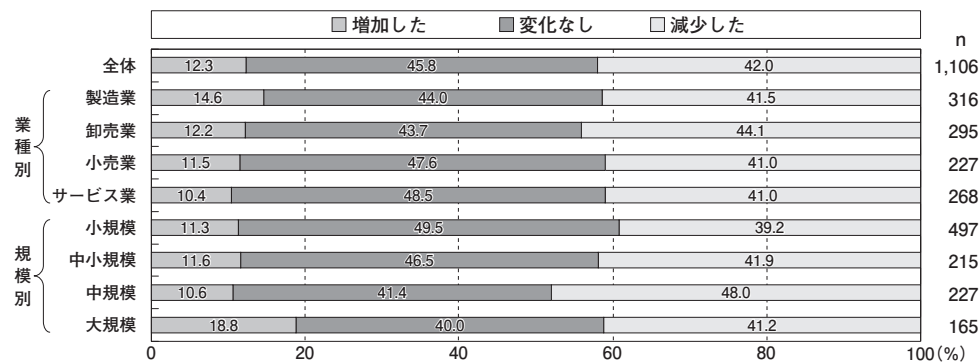
(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が45.8%と最も高く、「減少した」が42.0%、「増加した」が12.3%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「増加した」が14.6%と高く、卸売業は「減少した」が44.1%と高い。

規模別にみると、大規模は「増加した」が18.8%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

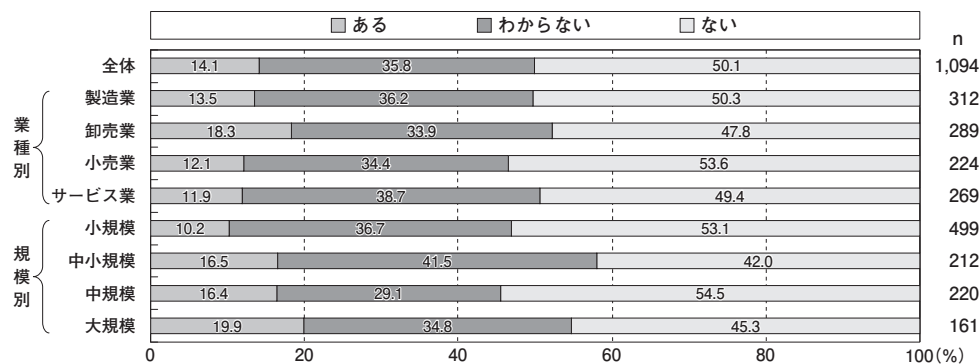
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が50.1%と最も高く、「わからない」が35.8%、「ある」が14.1%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「ある」が18.3%と高く、小売業は「ない」が53.6%と高い。

規模別にみると、小規模は「ある」が10.2%と最も低い。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。